

行政報告

農作物の生育状況等について

9月1日現在の主な作物の生育状況について、秋まき小麦は、7月の高温と長雨の影響で、収穫量の減少と品質低下をまねき、現在、製品化に向けた調整をしている状況である。なお、春まき小麦は平年並みとなった。てん菜は「良」、馬鈴薯は「並からやや良」、豆類は「やや良」となり、飼料作物では、牧草の一番草が「並」、二番草とサイレージ用とうもろこしについては「やや良」となっている。

今後も、農作物の適期収穫指導を行っていく。

台風18号による被害状況とその対応について

台風18号による被害状況の調査を行ったところ、道路関係では13路線で道路崩壊及び砂利流失等の被害が発生、また、町内7箇所、明渠が雨の影響で部分的に土砂が堆積する被害を受けた。

パトロールの際に異常が見られなかった、熊牛屈足間道路では一般車両の事故が発生し、幸いに運転手にけがはなかったが、現在、損害賠償について相手側と協議中である。

被災箇所の復旧については、軽微な箇所は路面整正等の応急作業を町直営で実施した。

条例の一部改正

中小企業近代化資金融資条例の一部改正
 運転資金について、町が融資利息を助成する期間を1年間延長する。

平成25年度 補正予算

一般会計

(6、7回目の補正)

4億5,768万円 増
 総額 77億1,372万円

一般会計の主な補正(歳出)

◇保健福祉センター補修工事	216万円の増額
◇清掃センター四成分排ガス処理分析計等整備工事	795万円の増額
◇明渠排水路維持管理工事	35万円の増額
◇中小企業近代化資金利子補給等補助金	52万円の増額
◇消防救急無線デジタル化事業	1億6,122万円の増額
◇災害復旧工事(道路橋梁)	713万円の増額

※そのほか、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計、簡易水道事業特別会計の補正予算案を原案のとおり可決。

町政を問う!

一般質問

9月定例会では4人の議員が一般質問にたち、7項目にわたって理事者の方針をたどりました。
 なお、質問と答弁は要約してあります。

介護保険の存立を揺るがす「改革」方向に

木村好孝議員

政府が検討を進め、再来年からの実施を目指す、「要支援1・2を保険給付からはずし市町村事業に移行」「特養ホーム入所者を要介護3以上に」「低所得者の特養ホームなどの居住費・食費軽減の補足給付削減で一定の資産があれば対象からはずす」などを内容とした、介護保険制度改革は、高齢者の重症化の進行や新たな介護難民につながり、町としての受け皿体制確立

の保障もない国の責任放棄と考えるが見解を伺う。

高薄町長

本町の平成24年度末の要支援者認定人数は198名で、そのうち106名が介護予防サービスを利用していている。新しい総合事業の実施においてはサービスの低下、利用者及び家族の負担増にならないような体制づくりをしていきたい。

今後、ボランティアが必ず必要となってくるなか、担い手不足の解消策として、元気な高齢者にボランティア登録をしていただき、活動することにポイントを付与して物販等と交換する事業等を含めた、新たなボランティア制度を導入

するべく、調査・研究中である。

要支援1・2の方を介護保険からはずし、市町村が実施主体となる、新しい総合事業に移行した場合には、サービス内容や単価に格差が生じるのではないかと懸念されている。

国は、地域在宅の方向へ進めようとしており、本町のような基幹産業が農業の町にとつては、家族の負担増も考えられ、非常に厳しい条件になると思われる。

今後、介護等を必要とする高齢者がますます増加することが見込まれるなかで、国において将来を見据えた計画のもと、持続可